

函館市監査公表第15号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項および第4項の規定に基づき，観光部を対象として，定期監査を実施したので，その結果を同条第9項の規定により，別紙のとおり公表する。

平成30年5月18日

函館市監査委員 山 田 潤 一

函館市監査委員 植 松 直

函館市監査委員 斉 藤 明 男

函館市監査委員 松 宮 健 治

平成29年度 定期監査結果報告書

1 監査の対象部局

観光部

2 監査の対象

平成29年4月1日から平成29年9月30日までに執行された財務に関する事務およびその他の事務

3 監査の期間

平成29年11月30日から平成30年3月26日まで

4 監査の実施内容

監査にあたっては、上記事務が法令等および予算の定めるところにより適正に執行されているかについて、監査項目を定め、都市監査基準に基づき、諸帳簿等関係書類の検査のほか、関係職員から説明を聴取し、必要に応じて現地調査を行った。

なお、各監査項目における主な着眼点は次のとおり。

(1) 予算の執行

- ア 計画的かつ効率的に行われているか。
- イ 会計区分、年度区分および予算科目は適正か。
- ウ 事務処理で法令等に違反するものはないか。

(2) 庶務的事務

- ア 職員の服務に係る手続きは適正か。
- イ 金券等の管理および使用ならびに諸帳簿の整備は適正か。

(3) 支出事務（コンベンション誘致推進費）

- ア 違法、不当または不経済な支出はないか。
- イ 支出決定は正当な権限者により行われているか。
- ウ 支払時期は適正か。

5 監査の結果

監査の対象とした事務は、概ね適正に執行されていたが、次のとおり改善を要する点が見受けられた。

(1) 指摘事項

ア 予算の執行

歳入科目のうち行政財産の目的外使用許可に係る行政財産使用料324,480円について、当該許可に併せて歳入金の調定および納入通知すべきところ、これを行っていなかった。また、平成28年度出納整理期間内に行った駐車場使用料6,000円の還付について、当該収入した歳入金から戻すべきところ、29年度の歳入金から戻出していたことから、チェック体制を強化するなど、遺漏のない適正な事務の執行を図られたい。